INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2017年第46週
（11月13日～11月19日）

＊ 2017年11月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
http://survey.tokyo-eiken.go.jp/
＊ 今週は感染症豆知識「冬の食中毒（ノロウイルスを中心に）」も掲載しています。

平成29(2017)年11月24日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電　話：03－3363－3213(直通)
ＦＡＸ：03－5332－7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患　報告数（一類～四類）２０１７年４６週

分類	対象疾患	東京都（保健所受理週）					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	60	73	68	73	3,053	355	20,091
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	中東呼吸器症候群 *2							
	鳥インフルエンザ（H5N1）							
	鳥インフルエンザ（H7N9） *3							
三類	コレラ					2		7
	細菌性赤痢	1	1			31	4	128
	腸管出血性大腸菌感染症	7	2	6	3	454	29	3,747
	腸チフス					8	1	36
	パラチフス					6		13
四類	E型肝炎			3		52	4	281
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1			60		247
	エキノコックス症					1		24
	黄熱							
	オウム病							11
	オムスク出血熱							
	回帰熱					2		8
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 *4						1	4
	重症熱性血小板減少症候群 *5						1	88
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							2
	炭疽							
	チクングニア熱					2		4
	つつが虫病		1	1		5	29	184
	デング熱	2		4		65		230
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）							

*1　病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2　病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3　2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4　2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5　病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
四類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	322
	日本脳炎						1	2
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		3
	マラリア		2			25	1	55
	野兎病							
	ライム病					1	1	19
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		1
	レジオネラ症	4	3	6	4	144	15	1,594
	レプトスピラ症		1			9		41
	ロッキー山紅斑熱							
2017/11/22集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核　73件　患者 41件(肺結核 31件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 32件、年齢は10歳未満 8件(うち5歳未満 7件)、20代 7件、30代 8件、40代 10件、50代 5件、60代 10件、70代 8件、80代 12件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 65件、カメルーン 1件、ミャンマー 1件、不明 6件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症　3件　患者 2件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT2 3件、年齢は20代 1件、70代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 1件であった。

〈四類感染症〉

レジオネラ症　4件　病型は肺炎型 4件、年齢は50代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は水系感染 3件、(温泉 2件、銭湯 1件)、不明 1件であった。

※ 第43週で報告のあった〔四類〕E型肝炎　1件は削除された。
※ 第45週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症　1件の追加報告があった。
※ 第45週該当分として〔四類〕デング熱　1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患　報告数（五類）２０１７年46週

分類	対象疾患	東京都（保健所受理週）					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
五類（全数届出）	アメーバ赤痢	6	5	8	6	196	14	947
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	2		3	1	56	3	259
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9	2	6	1	194	13	1,472
	急性脳炎 *1		1	1	1	62	6	597
	クリプトスポリジウム症	1				2		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1			15	1	173
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	1	1	64	9	486
	後天性免疫不全症候群	10	5	13	6	416	14	1,222
	ジアルジア症					22		50
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1		2	47	3	320
	侵襲性髄膜炎菌感染症					3		23
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	5	10	5	349	48	2,730
	水痘（入院例に限る）	1	2	2	2	50	5	269
	先天性風しん症候群							
	梅毒	36	26	45	29	1,580	62	5,053
	播種性クリプトコックス症	1				13	1	117
	破傷風		1			6	1	115
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7		70
	風しん					21	1	81
	麻しん					28		188
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1			5		22
								2017/11/22集計

*1　ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（ 全数把握対象疾患のコメント・五類 ）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢　6件　病型は腸管 6件、年齢は30代 1件、50代 2件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、タイ又はインドネシア 1件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、経口感染 1件、不明 4件であった。

ウイルス性肝炎　1件　B型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は無しであった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　1件　患者、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は手術部位感染、90日以内の海外渡航歴は無しであった。

急性脳炎　1件　病原体はインフルエンザウイルスA型、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症　1件　血清群はG群、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

後天性免疫不全症候群　6件　AIDS 2件、無症候キャリア 4件、性別は男性 6件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 4件、推定感染地は国内 3件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 4件、両性間 1件)、不明 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症　2件　血清型は検査未実施、年齢は30代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、ヒブワクチン接種歴は無し 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症　5件　血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 2件、50代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価3回接種済み 1件、価数不明1回接種済み 2件、無し 1件、不明 1件であった。

水痘（入院例）　2件　検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、水痘ワクチン接種歴は不明 2件であった。

梅毒　29件　患者 21件（早期顕症梅毒Ⅰ期 6件、早期顕症梅毒Ⅱ期 14件、晩期顕症梅毒 1件）、無症候梅毒 8件、性別は男性 18件、女性 11件、年齢は20代 15件、30代 4件、40代 7件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 28件、マレーシア 1件、推定感染経路は性的接触 28件(同性間 4件、異性間 20件、性別不明 4件)、不明 1件であった。

※ 第45週該当分として〔五類〕ウイルス性肝炎　1件、侵襲性肺炎球菌感染症　1件、水痘　2件、梅毒　1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患　報告数　2017年46週

上段：報告数
下段：定点当たり

定点種別	対象疾患	2017年 43週	44週	45週	46週	報告医療機関数	定点医療機関数
小児科	RSウイルス感染症	131	117	85	82	261	264
		0.50	0.45	0.32	0.31		
	咽頭結膜熱	124	122	165	172		
		0.48	0.47	0.63	0.66		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	648	610	696	779		
		2.48	2.33	2.65	2.98		
	感染性胃腸炎	1,058	1,174	1,384	1,787		
		4.05	4.48	5.26	6.85		
	水痘	85	123	157	167		
		0.33	0.47	0.60	0.64		
	手足口病	697	474	369	301		
		2.67	1.81	1.40	1.15		
	伝染性紅斑	21	18	27	19		
		0.08	0.07	0.10	0.07		
	突発性発しん	121	135	138	136		
		0.46	0.52	0.52	0.52		
	百日咳	2	5	1	4		
		0.01	0.02	0.00	0.02		
	ヘルパンギーナ	119	86	72	47		
		0.46	0.33	0.27	0.18		
	流行性耳下腺炎	40	35	48	48		
		0.15	0.13	0.18	0.18		
	川崎病 *1	3	4	5	3		
		0.01	0.02	0.02	0.01		
	不明発しん症 *1	33	16	22	14		
		0.13	0.06	0.08	0.05		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	142	234	226	360	415	419
		0.34	0.56	0.54	0.87		
眼科	急性出血性結膜炎				1	39	39
					0.03		
	流行性角結膜炎	28	25	26	31		
		0.72	0.64	0.67	0.79		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1	1	1		25	25
		0.04	0.04	0.04			
	無菌性髄膜炎	1	1				
		0.04	0.04				
	マイコプラズマ肺炎	6	8	11	4		
		0.24	0.32	0.44	0.16		
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）		1	1	2		
			0.04	0.04	0.08		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス） *4						
	インフルエンザ入院		2	1	1		
			0.08	0.04	0.04		

2017/11/22集計

*1　不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
*2　鳥インフルエンザを除く。
*3　インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
*4　病原体がロタウイルスであるものに限る。

（ 今週の注目される定点把握対象疾患 ）

・**Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎**が増加しており、今後の発生状況に注意する必要があります。

定点把握対象疾患　報告数【年齢階級別】2017年46週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	12			8	1	4			1		
6～11か月	31	9		88	2	15		34		6	
1歳	22	40	23	298	2	91	2	77		15	
2歳	12	19	33	217	9	60		17		7	
3歳	2	26	59	180	7	43	4	5		7	2
4歳	2	27	108	152	15	29	6			5	7
5歳	1	20	104	140	17	26	4	1		1	5
6歳		11	114	126	20	10	2	2	1		6
7歳		6	96	82	27	6	1			3	5
8歳		7	88	73	20	8				1	7
9歳		1	37	61	19	2				1	9
10～14歳		4	86	133	25	4				1	7
15～19歳		1	6	32							
20～29歳		1	25	197	3	3			2		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	82	172	779	1,787	167	301	19	136	4	47	48
先週比	-3	7	83	403	10	-68	-8	-2	3	-25	

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			2								
6～11か月	1	1	1								
1歳		4	14								
2歳	1	2	15								1
3歳		3	12								
4歳	1		16								
5歳		2	27		1			2			
6歳		2	27		1						
7歳			44								
8歳			27								
9歳			31					1			
10～14歳			55		1			1			
15～19歳			6		1						
20～29歳			17	1	5						
30～39歳			16		10						
40～49歳			30		6						
50～59歳			14		3				1		
60～69歳			3		1						
70～79歳			1		2						
80歳以上			2						1		
合計	3	14	360	1	31			4	2		1
先週比	-2	-8	134	1	5	-1		-7	1		

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患　定点医療機関当たり報告数【保健所別】2017年46週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.33	2.67							
中央区			4.33	17.33	2.00	0.67		0.33		0.67	0.33
みなと	0.67	0.17	2.67	6.33	0.83	1.33		0.33	0.17	0.33	
新宿区	0.50	0.38	2.38	6.38	0.25	0.13					0.13
文京	0.50	1.75	1.50	7.00	4.00	0.50		0.75			
台東		0.50	4.75	7.50	1.25	2.00		0.75			0.75
墨田区	0.60	0.20	1.20	7.00	0.40	1.20		1.00		0.20	0.20
江東区	0.11	0.56	2.11	9.33	0.33	1.67		0.78		0.22	0.11
品川区	0.13	0.63	1.88	6.75	1.00	1.00		0.75		0.50	0.25
目黒区	0.60	0.20	1.20	8.80	1.00	1.80				0.80	0.20
大田区	0.38	1.31	4.69	11.38	0.15	0.69	0.08	0.62	0.08	0.08	
世田谷	0.69	0.38	2.56	6.06	0.63	0.94	0.13	0.25		0.31	0.44
渋谷区	0.25		0.25	5.75	1.75	1.00	1.75	0.50			
中野区	0.33	0.83	4.00	7.33	1.17	0.83	0.17	0.33		0.33	0.17
杉並	0.50	0.30	0.90	5.80	0.60	1.10		0.30			0.10
池袋			1.50	2.75		0.50					
北区	0.14		1.29	2.86	0.14	1.86		0.43			
荒川区	0.75	0.50	4.50	7.00	0.25	0.75		0.50			
板橋区		0.10	1.00	4.50		1.00	0.20	0.50			
練馬区	0.15	1.00	3.62	5.92	0.69	0.69		0.46	0.08	0.08	0.31
足立	0.31	0.77	1.15	6.15	0.23	0.69		0.62		0.15	0.08
葛飾区		0.13	2.50	6.38	0.75	1.88	0.13	0.63		0.38	
江戸川	0.58	1.00	4.50	7.58	0.67	1.33	0.25	0.25		0.08	0.17
八王子市	0.45	0.91	6.36	8.55	1.18	1.55		0.82	0.09	0.18	0.45
町田市		0.38	2.00	13.13	0.50	1.25		0.75		0.13	0.25
西多摩	0.25		1.50	5.38	0.38	0.88		0.13			
南多摩		1.22	3.67	6.89	1.22	0.56		0.78		0.11	0.33
多摩立川	0.29	0.29	2.93	6.07	0.21	1.29		0.36			0.43
多摩府中	0.25	0.70	5.20	5.85	0.40	1.70	0.05	0.75		0.45	0.20
多摩小平	0.47	2.33	4.47	5.60	0.87	2.00	0.07	1.00		0.27	0.13
島しょ			1.00								

東京都	0.31	0.66	2.98	6.85	0.64	1.15	0.07	0.52	0.02	0.18	0.18

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田			0.25								
中央区			0.40		2.00						
みなと			2.22								
新宿区			0.08								
文京			0.43		1.00						
台東			3.00								
墨田区			0.25		1.00						
江東区			1.71		1.00						
品川区	0.13	0.25	0.75								
目黒区			0.13								
大田区		0.08	0.95								
世田谷	0.06	0.13	4.08	0.50	2.00			0.50			
渋谷区			0.57		1.00			2.00			
中野区			1.40								
杉並	0.10	0.10	0.25		1.00			0.50			
池袋			0.29		2.00				1.00		
北区		0.29	0.36								
荒川区			1.57		2.00						
板橋区		0.10	0.19		1.00						1.00
練馬区			0.71								
足立		0.08	1.00		1.50						
葛飾区			0.54		1.00						
江戸川			0.68		1.50						
八王子市		0.18	0.61		1.00						
町田市			0.69								
西多摩			0.50								
南多摩			0.64								
多摩立川		0.07	0.43		0.50						
多摩府中		0.05	0.16		1.33				0.33		
多摩小平			0.30								
島しょ											

東京都	0.01	0.05	0.87	0.03	0.79			0.16	0.08		0.04

定点把握対象疾患　報告数【保健所別】2017年46週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田			1	8							
中央区			13	52	6	2		1		2	1
みなと	4	1	16	38	5	8		2	1	2	
新宿区	4	3	19	51	2	1					1
文京	2	7	6	28	16	2		3			
台東		2	19	30	5	8		3			3
墨田区	3	1	6	35	2	6		5		1	1
江東区	1	5	19	84	3	15		7		2	1
品川区	1	5	15	54	8	8		6		4	2
目黒区	3	1	6	44	5	9				4	1
大田区	5	17	61	148	2	9	1	8	1	1	
世田谷	11	6	41	97	10	15	2	4		5	7
渋谷区	1		1	23	7	4	7	2			
中野区	2	5	24	44	7	5	1	2		2	1
杉並	5	3	9	58	6	11		3			1
池袋			6	11		2					
北区	1		9	20	1	13		3			
荒川区	3	2	18	28	1	3		2			
板橋区		1	10	45		10	2	5			
練馬区	2	13	47	77	9	9		6	1	1	4
足立	4	10	15	80	3	9		8		2	1
葛飾区		1	20	51	6	15	1	5		3	
江戸川	7	12	54	91	8	16	3	3		1	2
八王子市	5	10	70	94	13	17		9	1	2	5
町田市		3	16	105	4	10		6		1	2
西多摩	2		12	43	3	7		1			
南多摩		11	33	62	11	5		7		1	3
多摩立川	4	4	41	85	3	18		5			6
多摩府中	5	14	104	117	8	34	1	15		9	4
多摩小平	7	35	67	84	13	30	1	15		4	2
島しょ			1								

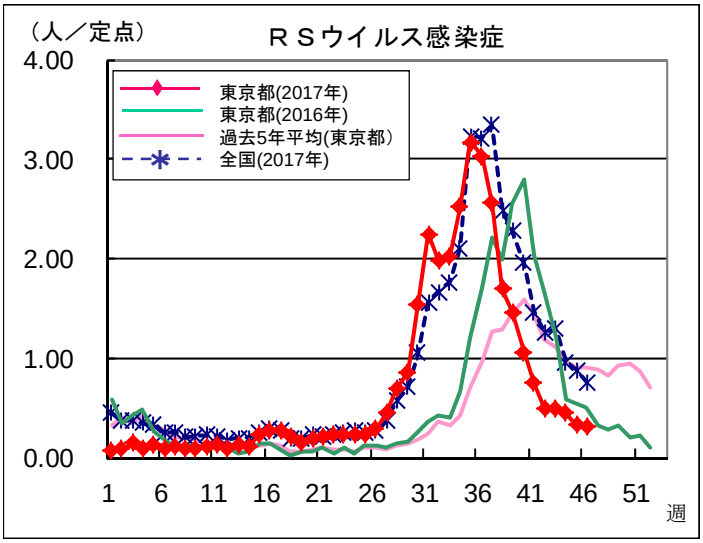
東京都合計	82	172	779	1,787	167	301	19	136	4	47	48

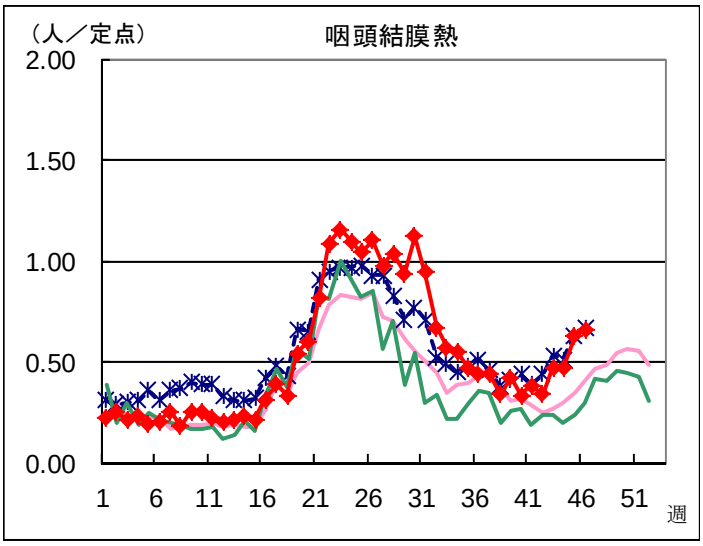
	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田			1								
中央区			2		2						
みなと			20								
新宿区			1								
文京			3		1						
台東			21								
墨田区			2		1						
江東区			24		1						
品川区	1	2	9								
目黒区			1								
大田区		1	20								
世田谷	1	2	102	1	4			1			
渋谷区			4		1			2			
中野区			14								
杉並	1	1	4		1			1			
池袋			2		2				1		
北区		2	4								
荒川区			11		2						
板橋区		1	3		2						1
練馬区			15								
足立		1	20		3						
葛飾区			7		1						
江戸川			13		3						
八王子市		2	11		2						
町田市			9								
西多摩			7								
南多摩			9								
多摩立川		1	9		1						
多摩府中		1	5		4				1		
多摩小平			7								
島しょ											

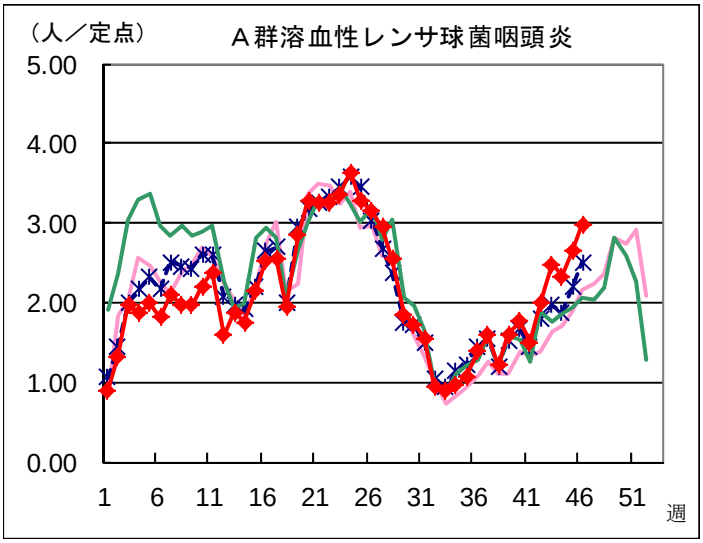
東京都合計	3	14	360	1	31			4	2		1

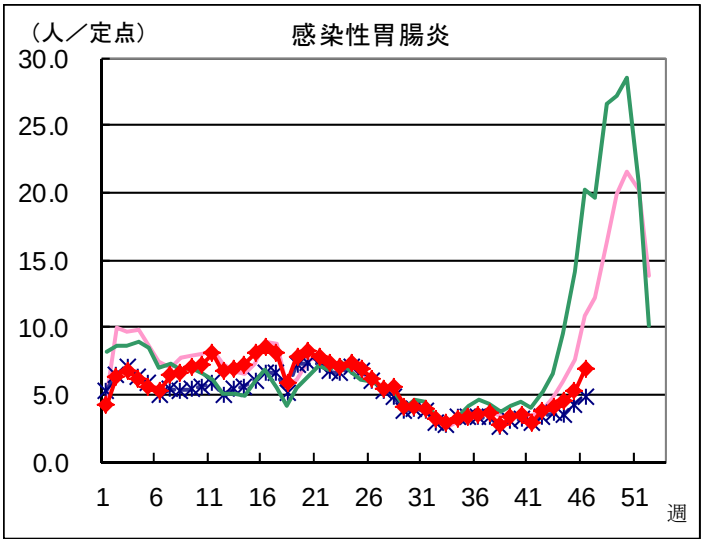
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数（2017年46週 現在）

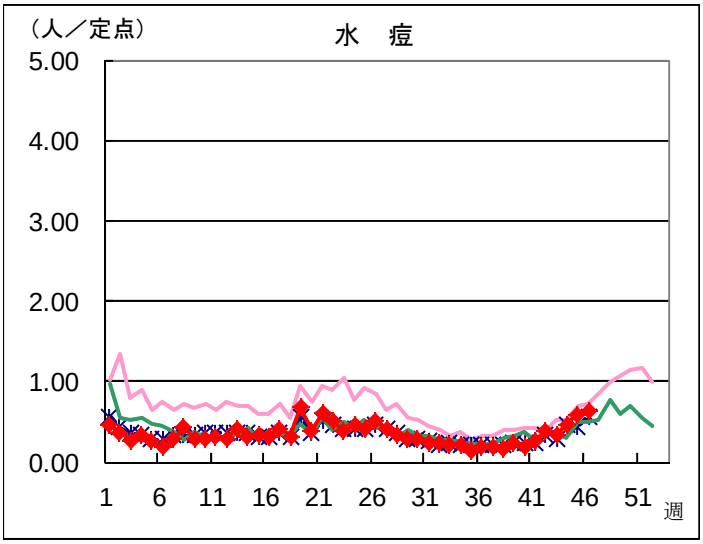
◆ 小児科定点

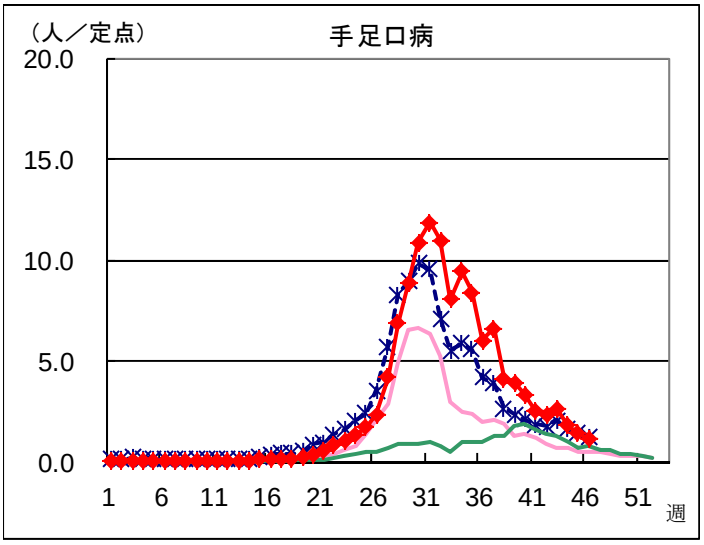


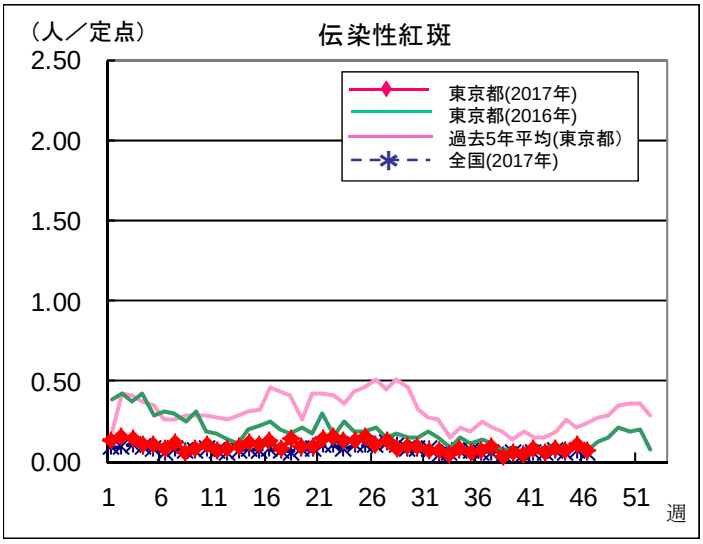


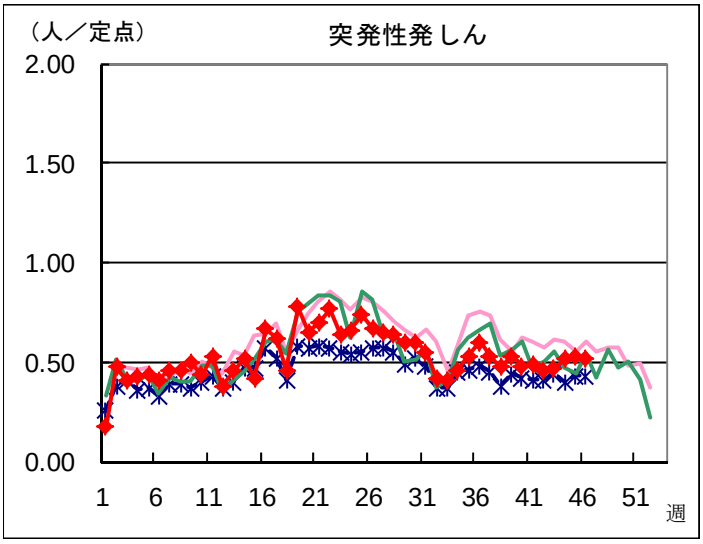


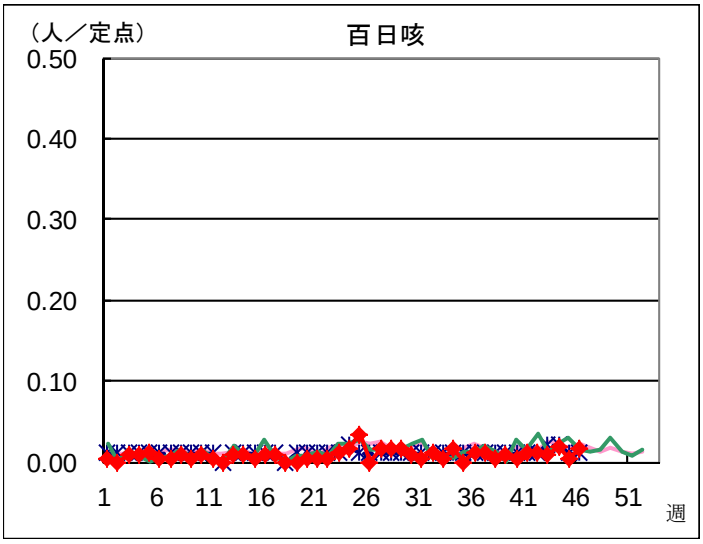


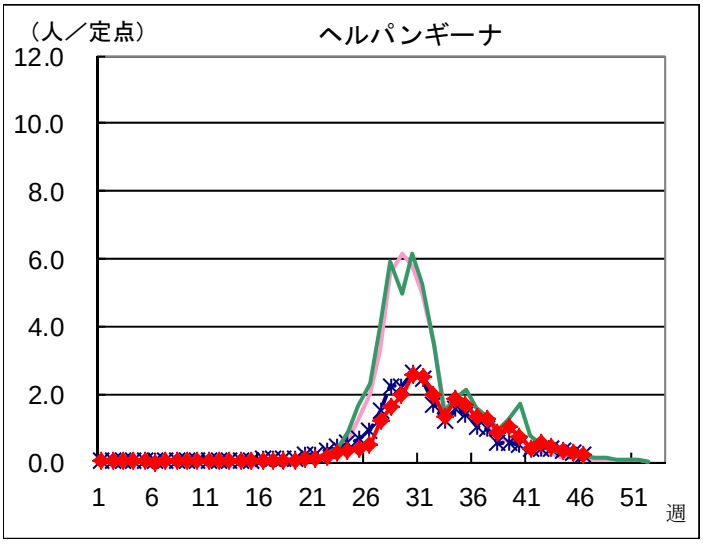


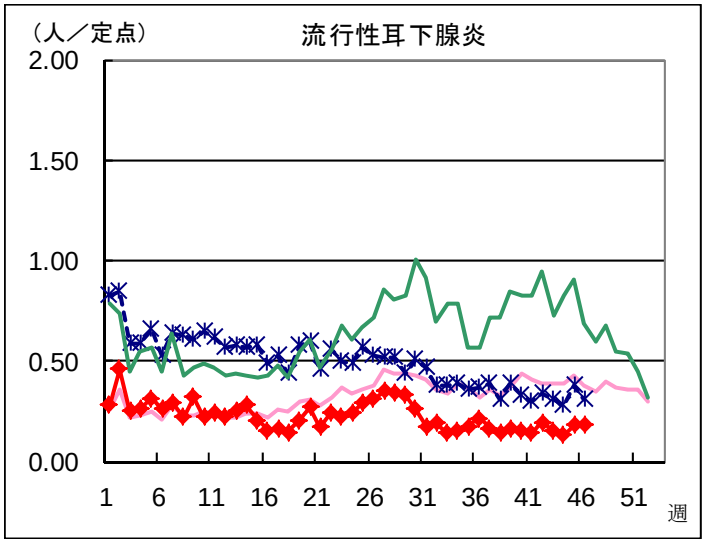


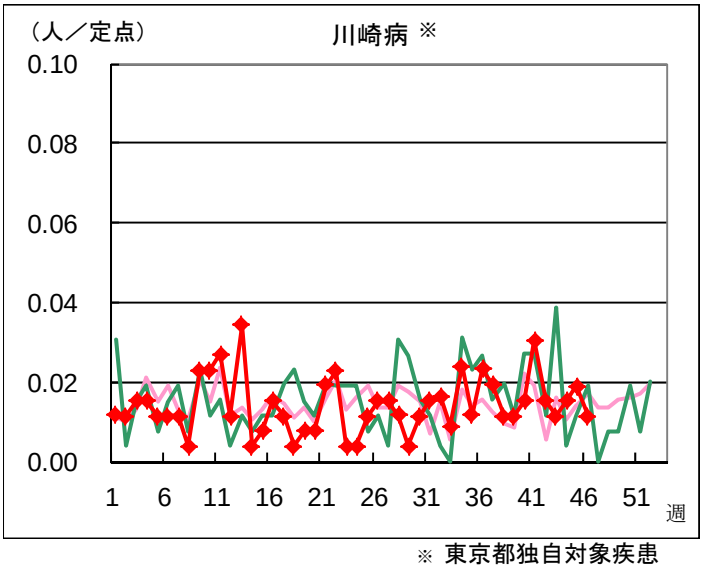

（人／定点）
伝染性紅斑
2.50
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
東京都(2017年)
東京都(2016年)
過去5年平均(東京都)
全国(2017年)
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
突発性発しん
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

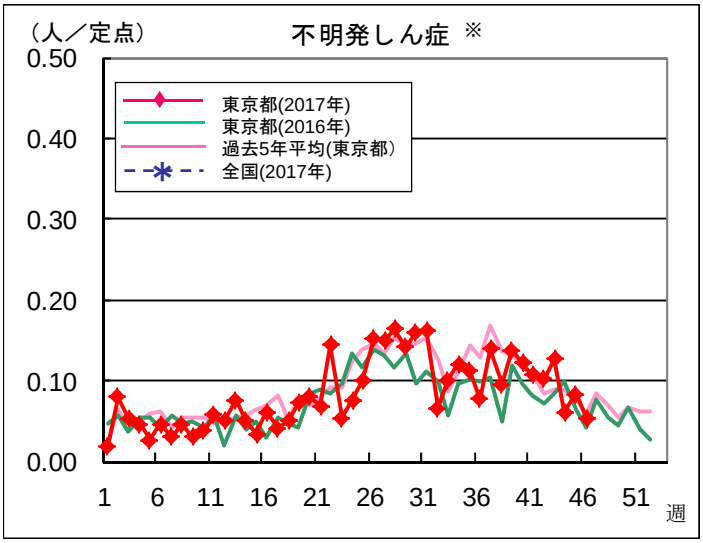

（人／定点）
百日咳
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
ヘルパンギーナ
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
流行性耳下腺炎
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

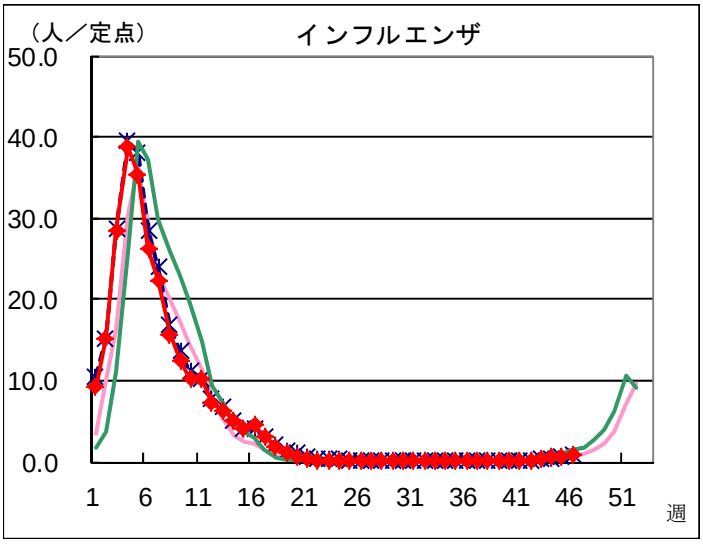

（人／定点）
川崎病 ※
0.10
0.08
0.06
0.04
0.02
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

※ 東京都独自対象疾患

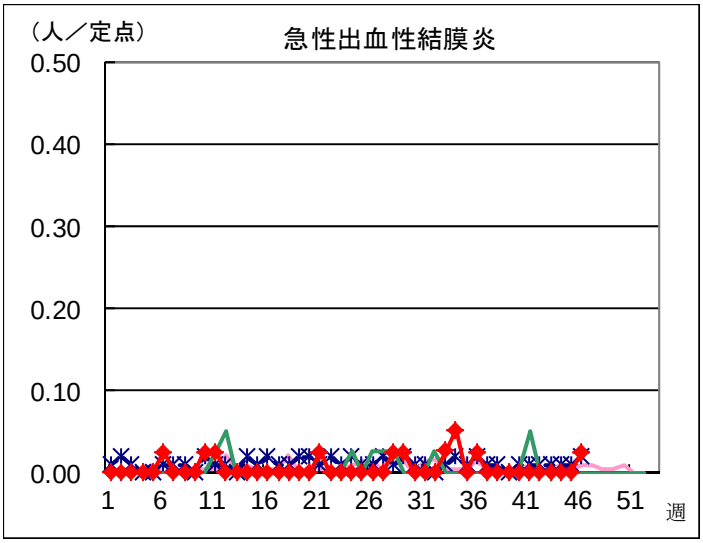


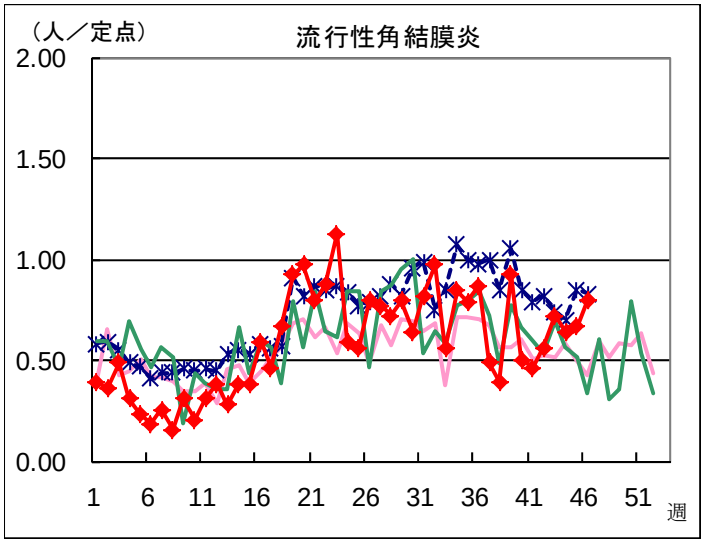
※ 東京都独自対象疾患

◆ インフルエンザ定点

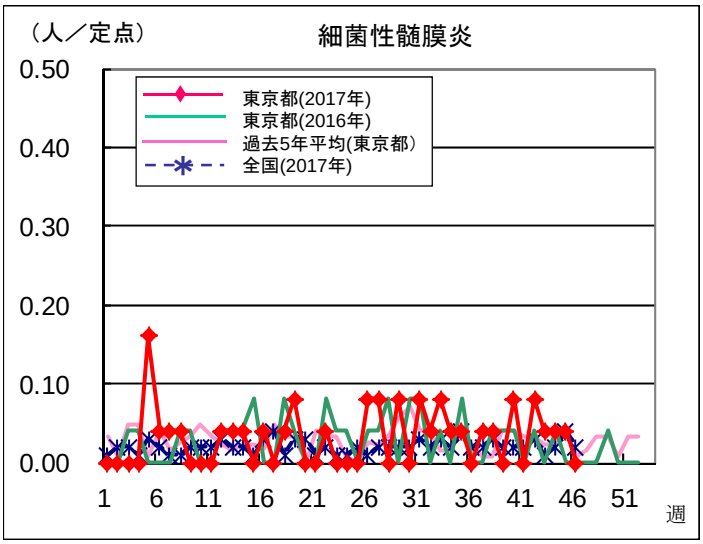


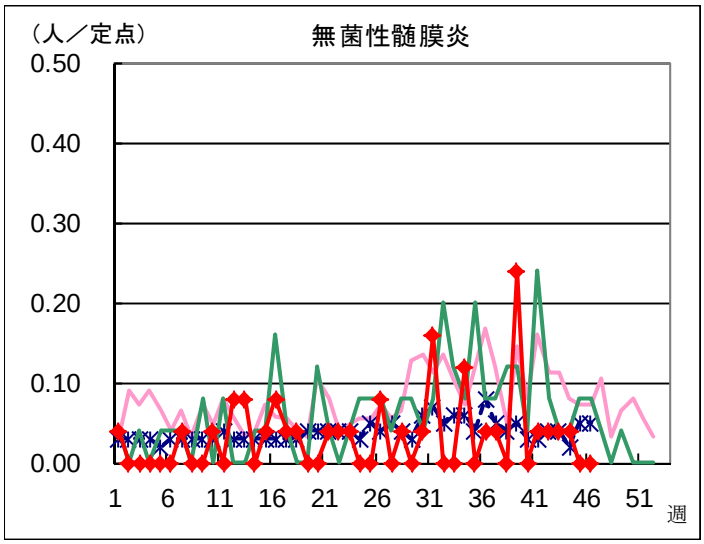
◆ 眼科定点

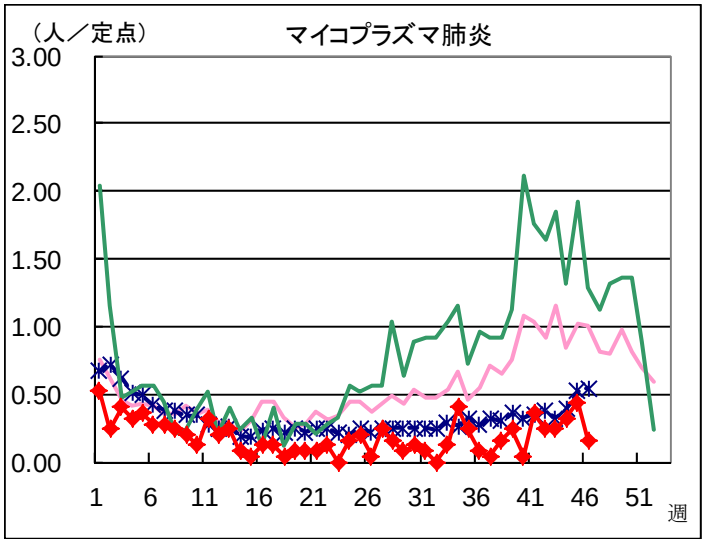


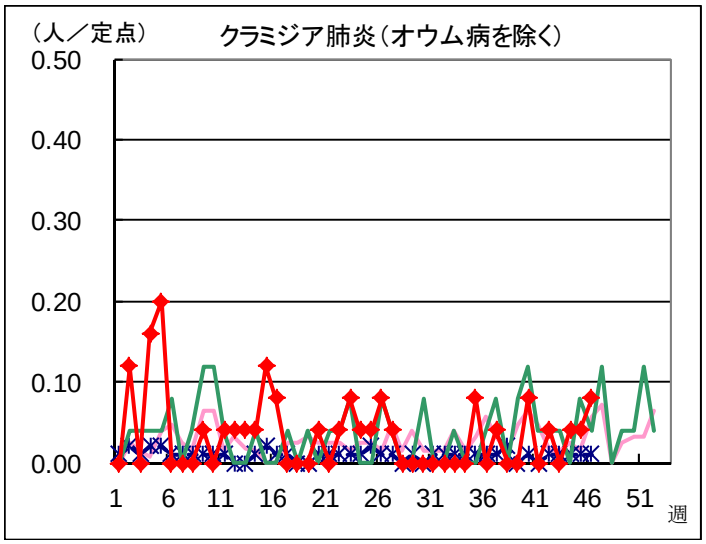


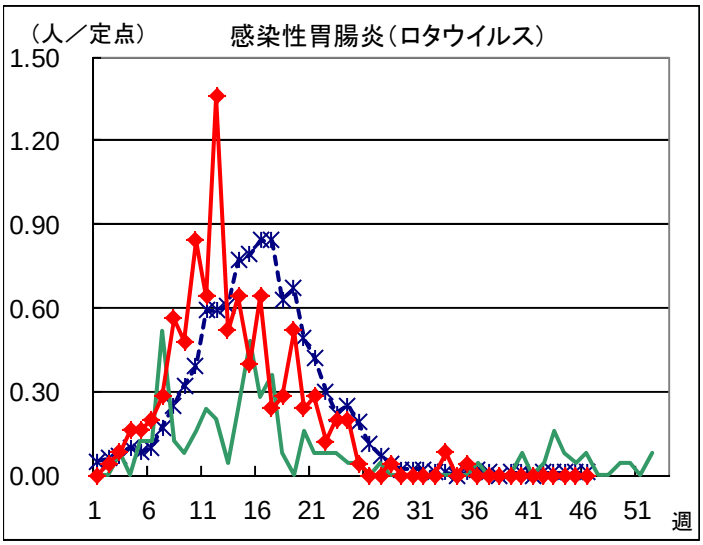
◆ 基幹定点

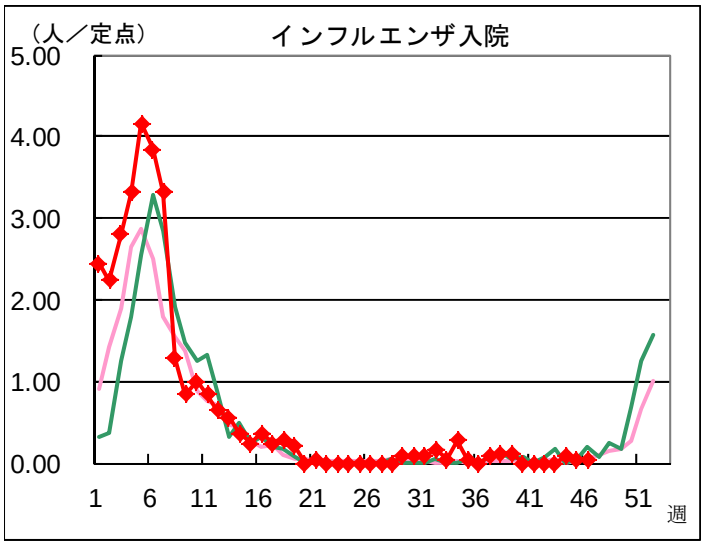

（人／定点）
細菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
東京都(2017年)
東京都(2016年)
過去5年平均(東京都)
全国(2017年)
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
無菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
マイコプラズマ肺炎
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
感染性胃腸炎（ロタウイルス）
1.50
1.20
0.90
0.60
0.30
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
インフルエンザ入院
5.00
4.00
3.00
2.00
1.00
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況（インフルエンザウイルスを除く）

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
9/28	マイコプラズマ肺炎	12	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ（遺伝子）
10/18	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
10/23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
10/23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-3型
10/24	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
10/24	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
10/26	感染性胃腸炎	11M	直腸拭い液	サポウイルス
10/26	川崎病	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
10/28	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	エコーウイルス9型
10/28	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス
10/30	手足口病	11	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
10/30	突発性発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
10/31	RSウイルス感染症	8M	咽頭拭い液	RSウイルスA型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

44週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年44週				
2017-2018年 シーズン累計*	4		6	2

＊2017-2018年シーズンの開始は第36週（2017年9月4日～）

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2017年							
	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週
アデノウイルス		3					1	
コクサッキーウイルスA群	3	2	4	1	7	7	2	2
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス	2	1	1		2	1	3	1
エンテロウイルス71	2		1	1	2	1	1	
その他のエンテロウイルス			1	1	2			
ライノウイルス	2	2	2		1		2	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱しんウイルス		1		2		2		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	3	1	1		4	3		1
EBウイルス								1
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス						1		
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス					2			
ヒトパルボウイルスB19					1			
RSウイルス	3	2	3	2	1	3		1
ノロウイルス			1				1	
ロタウイルス								
サポウイルス				1				1
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	1		1	1			2	
インフルエンザウイルスB型	1			1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1					1		
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1				1			
A群溶血性レンサ球菌T-3型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-4型							1	1
A群溶血性レンサ球菌T-12型	2							
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1					2	1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1							
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ				1				
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2017年37週～2017年44週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	16	3	12	7	7	36	2	7		2	12	2	25	9	15		4	1	7	1	
アデノウイルス		1															3				
コクサッキーウイルスA群					1	26				1											
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス	1					1		1					8								
エンテロウイルス71						8															
その他のエンテロウイルス															3				1		
ライノウイルス	1				2			1				1	5								
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱しんウイルス					5																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1				1		4					7								
EBウイルス											1										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											1										
麻しんウイルス																					
麻しんA型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス													2								
ヒトパルボウイルスB19							1														
RSウイルス	15																				
ノロウイルス				2																	
ロタウイルス																					
サポウイルス				2																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型														5							
インフルエンザウイルスB型														2							
インフルエンザウイルスAH1pdm09														2							
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			4																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																				1	
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

＜感染症豆知識＞

冬の食中毒（ノロウイルスを中心に）

○　東京都の食中毒発生状況

東京都では毎年100件から150件程度の食中毒事件が発生している。過去10年間の平均では年間120.8件の食中毒事件が発生しており、このうち月別では12月が15.1件と最も多く、次いで1月が14.3件と2番目に多い。このように、近年では冬に多くの食中毒事件が発生している。

この主な原因物質はノロウイルスである。昨年は、ノロウイルスによる食中毒事件は都内で51件発生しており、136件発生した食中毒事件全体の約38%を占め、発生件数が最も多い食中毒の病因物質となっている。

また、ひとたび発生すると大規模食中毒に発展しやすいという特徴があり、都としてもさまざまな媒体を用いて注意喚起を行っている。

○　「刻みのり」による食中毒事例から

本年2月、都内の複数の小学校で学校給食を原因とするノロウイルス（GⅡ.17）による食中毒が発生した。調理施設のふき取り、調理従事者検便からノロウイルスは検出されなかった。患者の共通食を調査したところ、学校給食で提供された「刻みのり」が原因食品として強く疑われた。そこで、販売施設に保管されていた「刻みのり」を検査したところ、ノロウイルスが検出され、各小学校で発生した食中毒患者から検出したウイルスと遺伝子型が一致した。

「刻みのり」の細切等の加工を行った営業施設のふき取り検査の結果、細断機など複数の箇所からノロウイルスを検出し、食中毒患者から検出されたノロウイルスと遺伝子型が一致した。この施設の従事者は製造当時の12月に吐き気等の症状を呈していたことも報道された。

これらの結果から、12月に「刻みのり」の細断時に付着したノロウイルスは、2月中旬に給食として提供される時点まで感染力を保持していたことが推測される。ノロウイルスが乾燥状態で長期間感染力を保持できることが示唆された事例である。

（文責　東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長　稲見成之）